

2種のゴキブリに対する効果比較

1 目的

マックスフォース製剤の2種のゴキブリに対する効力を、基礎試験によって評価した。

2 試験方法

直径24cmの円形プラスチック容器に

(1) チャバネゴキブリ雌雄 各10頭 計20頭 (2) ワモンゴキブリ雌雄 各5頭 計10頭を放虫し試験を行った。

3 結果

被験薬剤	処理量	チャバネ ゴキブリ	ワモンゴキブリ		
			1回目	2回目	3回目
		LT ₅₀ ※1 / 平均喫食量			
マックスフォース マグナム フィプロニル 0.05% (w/w)	0.4g	0.2日 / 0.17g	4.3日 / 0.17g	<1.5日 / 0.13g	3.1日 / 0.26g
マックスフォース ジェル K ヒドラメチルノン 2.15% (w/w)	1.0g	3.5日 / 0.14g	6.8日 / 0.58g	4.3日 / 0.55g	

4 考察

- 「マックスフォース マグナム」はチャバネゴキブリに対してLT₅₀値が0.2日と高い速効性を示した。ワモンゴキブリに対してはLT₅₀値が4.3日、<1.5日、3.1日とバラつきがみられた。
- 「マックスフォース ジェル K」はいずれのゴキブリにも、安定した効果が確認され、特にチャバネゴキブリには喫食量0.14gで高い効果を示した。総じて約5日程度で半数致死に達した。
- 「マックスフォース マグナム」は即効性に優れている一方、「マックスフォース ジェル K」は、マグナムに比べ、効果発現にやや時間がかかるが、特にチャバネゴキブリに対する効果は優れている。

※1 LT₅₀: Median Lethal Time (半数致死時間)